



市長 伊藤 康志

宮城県

お お さ き し

大崎市

宝の都（くに）・大崎

—ずっとおおさき・いつかはおおさき—

【データ】

※平成30年4月1日現在

- 人口：131,692 人
- 世帯数： 51,222 世帯
- 面積： 796.76 km²



市章

●大崎市の紹介

大崎市は、平成18年3月31日に古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町の1市6町が合併して誕生しました。

宮城県の北西部に位置し、東は遠田郡と登米市、西は山形県と秋田県、南は黒川郡と加美郡、北は栗原市に接しています。東西に約80kmの長さを持ち、宮城県内では第2位の面積を有します。

〔米どころ・見どころ〕

大崎市は、「ササニシキ」や「ひとめぼれ」の品種誕生の地であり、平成26年にはササニシキ系の「ささ結」も誕生し、全国有数の米どころとして知られています。また、鳴子温泉地域には開湯千有余年の鳴子温泉郷と四季折々の美しい渓谷美が楽しめる鳴子峡、岩出山地域には国の史跡名勝指定を受けている岩出山伊達家の家臣子弟の学問所であった旧有備館及び庭園があります。東部の田尻地域にはラムサール条約湿地に登録された蕪栗沼があり、冬には天然記念物のマガンやオオヒシクイなどが飛び立つ姿を見ることが出来る、国内でも貴重な自然環境が残存しています。



鳴子峡



旧有備館

〔世界農業遺産認定〕

大崎市を含む1市4町、宮城県、農業団体、NPO 法人などで構成する「大崎地域世界農業遺産推進協議会」がFAO（国連食糧農業機関）に申請した「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産に認定されました。これは、先人たちの知恵と努力によって築かれた農業システムが現代に至るまで継承され、育まれてきたことが世界に認められたものです。



世界農業遺産認定証授与式

●健康推進の取り組み

生活習慣病を持つ人や要介護状態となる市民が増加傾向にあり、市民主体による健康づくりや生活習慣病等予防の取り組みを推進することが非常に重要となってきております。

また、少子化に伴い子育て環境が変化していくなかで、安心して子供を産み、子供がより健やかに育まれるよう、切れ目のない母子保健サービスを提供するとともに、地域間における健康格差や、家庭環境の違い等の多様性を踏まえた母子保健サービスの展開が求められています。

そこで、今年度において、平成26年度に策定した「大崎市健康増進計画 後期計画」の評価を行い、その結果を踏まえて、第2次大崎市健康増進計画を策定いたします。市民による自発的な健康づくりを一層推進するため、市民、地域及び行政が一体となって一次予防に取り組むことを重視した計画の策定を行ってまいります。

併せて、平成26年度に改訂した「大崎市母子保健計画」も評価を行い、その結果を踏まえて、第2次大崎市母子保健計画を策定いたします。家庭や学校、保育園、幼稚園、地域の関係団体等と連携を図り、親子の健康づくりを一層推進する計画を策定いたします。

●地域との活動について

健康づくり普及事業の一環として、毎年「健康と福祉のつどい」を開催しています。健康増進計画における分野の一つをテーマに掲げ、市内の健康づくり団体や福祉団体、多くの市民等が参加し、それぞれが活動報告や展示・発表を行い、健康づくりに関する正しい知識の普及に努めています。

また、市とともに健康づくりの活動を行う保健推進員を市民に委嘱し、健康や保健に関する地域の問題を市と共有して、地域ぐるみの健康づくりを推進する担い手を養成する活動をしています。

さらに、食生活の改善及び普及に係る活動を行う食生活改善推進員を市民に委嘱し、家庭や地域における食育と健康づくりを推進するボランティアを養成しています。

宮城県大崎市民生部健康推進課
Tel 0229-23-5311 Fax 0229-23-9880
E-mail: kenko@city.osaki.miyagi.jp